

★ナルサス錠・ナルラピド錠について★

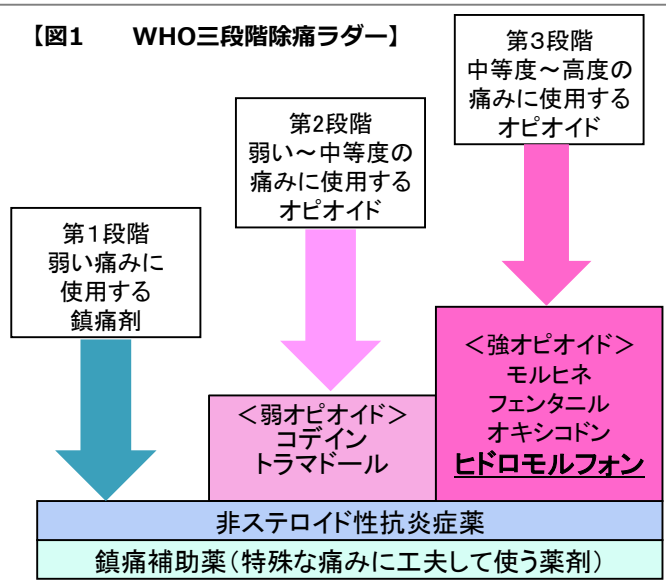
Q1、新規オピオイド製剤のナルサス錠・ナルラピド錠は、どのような薬ですか？

- A1、●ナルサス錠・ナルラピド錠は、モルヒネから誘導された半合成オピオイドの『ヒドロモルフォン』製剤です。
●WHO方式がん疼痛治療ガイドラインにおける三段階除痛ラダーで、モルヒネやオキシコドンと同様の強オピオイド鎮痛薬に位置付けられています。

ヒドロモルフォンは、既に80年以上にわたり世界的に使用されており、2017年より日本でも使用出来るようになりました。医療用麻薬に指定されています。



【図1 WHO三段階除痛ラダー】



Q2、製品概要や特徴を教えてください。

- A2、①ヒドロモルフォンはμオピオイド受容体作動薬であり、モルヒネあるいはオキシコドンと同等の鎮痛効果及び副作用を示すことが報告されています。

②主な代謝経路は肝臓でのグルクロン酸抱合によるものであり、腎機能低下に対する忍容性は高いとされています。またCYPではほとんど代謝されないため、薬物相互作用の可能性は低いことが示されています。

- ③ヒドロモルフォンの徐放錠である

ナルサス錠は効果は24時間持続するため、1日1回の服用で疼痛コントロールが可能となっています。

【表1 製品概要】

分類	徐放性製剤(定時投与薬)	即放性製剤(レスキュー薬)
商品名	ナルサス錠	ナルラピド錠
一般名	ヒドロモルフォン塩酸塩	
効能効果	中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛	
用法用量	通常、成人には4～24mgを1日1回経口投与(適宜増減)	<レスキューとして使用する場合>本剤の1回量は定時投与中のヒドロモルフォン1日用量の1/6～1/4を経口投与

Q3、他のオピオイド鎮痛薬との換算比はどうなりますか？

- A3、ヒドロモルフォンの1日量は、モルヒネ経口剤1日量の1/5量が目安とされています。右に換算目安表を示します。

【表2 オピオイド鎮痛薬換算表】 オピオイド鎮痛薬1日投与量 (mg)

一般名	ヒドロモルフォン	モルヒネ経口	オキシコドン経口	フェンタニル貼付剤
院内採用薬	ナルサス錠	カディアンカプセル	オキシコドン徐放カプセル	フェントステーブ
用量	4	20	10	-
	6	30	20	1
	12	60	40	2
	24	120	80	4

※参考：・「がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン」日本緩和医療学会
・「ナルサス錠・ナルラピド錠 製品概要資料」 第一三共株式会社
・「疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会 - 鹿児島開催資料」厚生労働省